

週間漁海況情報—第19号

平成27年5月19日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/>で公開され、毎週火曜日夜間に更新します。

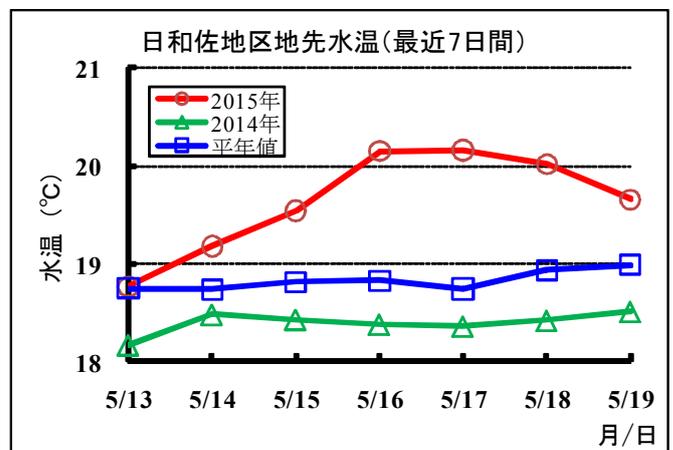
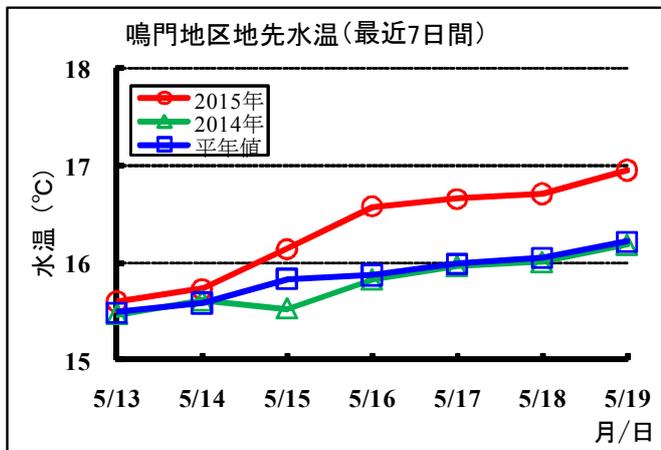
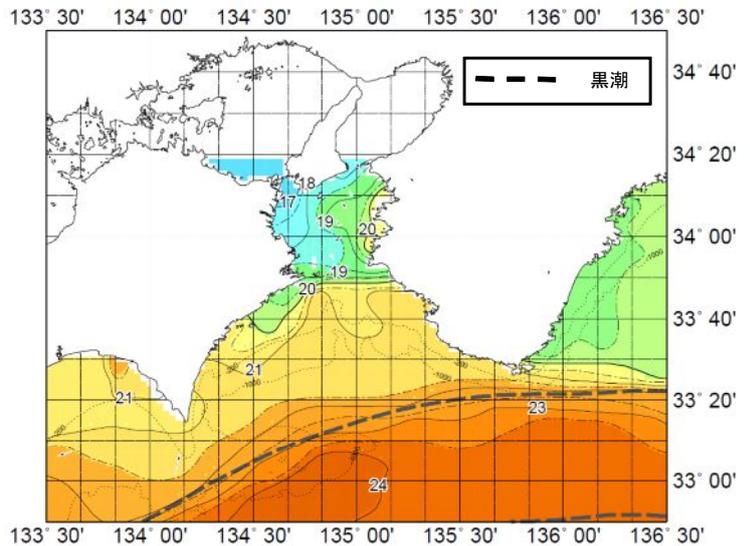
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.5.19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温22～23℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で16～17℃台、紀伊水道では16～20℃台、海部沿岸は19～20℃台である。紀伊水道外域は広く暖水に覆われている。



地先水温： 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の15.6～17.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の18.8～20.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の19.0～21.1℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.4トン（1日1隻あたり12kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でマイワシが0.6トン（同96kg）、カタクチイワシが0.3トン（同52kg）、ウルメイワシが0.3トン（同44kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマイワシ主体にいわし類が3.9トン（同1287kg）、大主体にマアジが1.3トン（同424kg）、小主体にマルアジが1.8トン（同608kg）、マルソウダが3.7トン（同1223kg）、中主体にアカカマスが0.6トン（同200kg）、小主体にシイラが0.3トン（同87kg）、平均重量70kgのクロマグロが0.3トン（同98kg）、小主体にスルメイカが0.4トン（同120kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にマアジが0.3トン（同16kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが39.4トン（同458kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2015年5月11日～2015年5月17日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	キダイ	30	350	12	大主体	
小型定置網		マイワシ	6	574	96		
		カタクチイワシ	5	258	52		
		ウルメイワシ	6	263	44		
		いわし類	3	3,861	1,287	マイワシ主体	
大型定置網		マアジ	3	1,273	424	大主体	
		マルアジ	3	1,823	608	小主体	
		マルソウダ	3	3,669	1,223		
		アカカマス	3	600	200	中主体	
		シイラ	3	261	87	小主体	
		クロマグロ	3	294	98	平均重量70kg	
		スルメイカ	3	359	120	小主体	
釣り			マアジ	16	260	16	大主体
パッチ網		紀伊水道	シラス	86	39,375	458	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の5月12日～5月18日には、海部沿岸では、小型定置網でマイワシが3.9トン、カタクチイワシが2.3トン、ウルメイワシが2.2トン、マメ主体にマアジが0.4トン、小主体にマサバが9.1トン、キビナゴが0.2トン、ハマチが0.4トン、大型定置網で特大・大主体にマアジが4.4トン、小主体にマルアジが6.1トン、小主体にマサバが1.9トン、マルソウダが6.1トン、メジロが1.2トン、ブリが0.4トン、小主体にシイラが0.7トン、平均重量50kgのクロマグロが1.7トン、大・中主体にアオリイカが0.3トン、中・小主体にカワハギが0.3トン、紀伊水道では、釣りで特大主体にタチウオが0.3トン、パッチ網でシラスが23.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の17～18℃台、日和佐地先で「平年並み」の19～20℃台で推移する見込み。